ボーリング柱状図

調　査　名　都道第25002号横迎町中央2号線地質調査業務委託

ボーリングNo										

事業・工事名

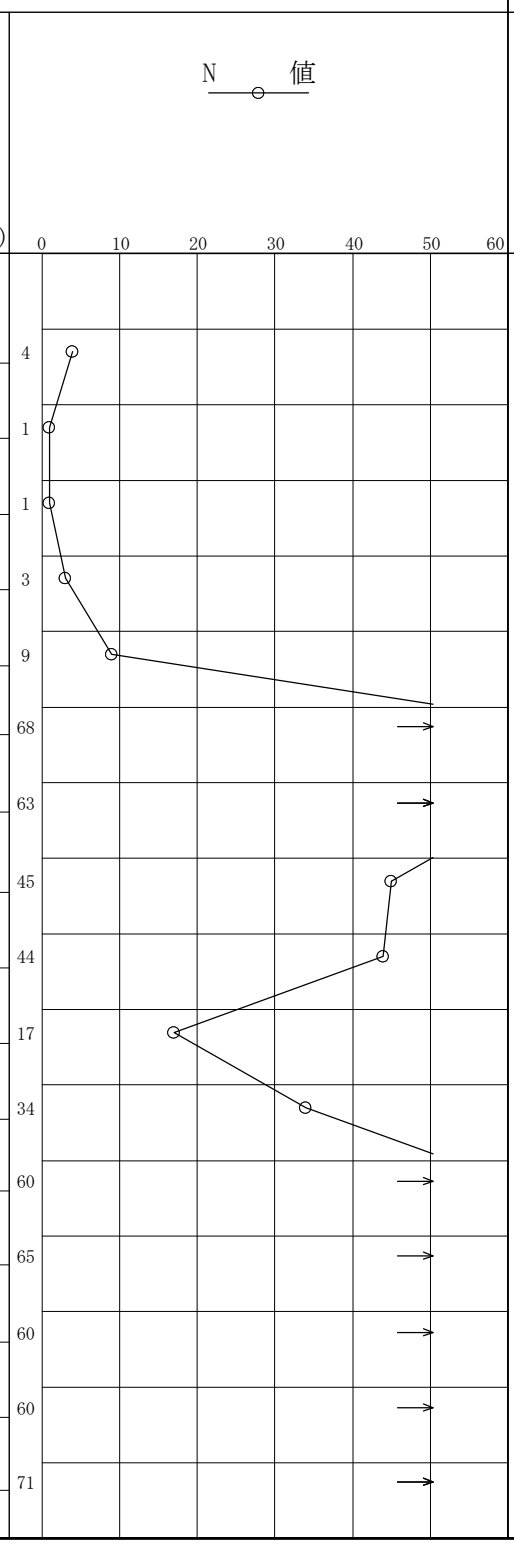
シートNo

ボーリング名	B－1（No．9＋12．2CL）	調査位置	青森県むつ市中央地内外							北緯	
発注機関	むつ市				調査期間	平成 26年 7月 15日 ～ 26年 7月 17日				東経	
調査業者名	有限会社　三陽技研 電話（017－766－9912）	主任技師	木村　斉		現場代理人	齊藤　尚昌	コア鑑定者	山崎　純		ボーリング責任者	市川　匡
孔口標高	H=4.94m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦製　D1－8　型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	16.36m								エンジン	ヤンマー製　NFD12－K　型	ポンプ	東邦製　BG－3C　型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	3.94	1.00	1.00		シルト混じり砂	暗褐			砂は細砂。 0.00～0.50m間に草根を多く混入。	7/15 1.27
	3.44	0.50	1.50		有機質シルト	黒褐		軟らかい	有機物と炭化物を多く混入。 細砂をわずかに混入。 炭化した木片をわずかに混入。	
2					シルト混じり砂	暗灰	非常に緩い		砂は細～微細砂。 シルトの塊と木片が点在。 2.15～2.25m間に埋木を混入。	
3	1.94	1.50	3.00		シルト質砂	暗褐	非常に緩い		砂は細～微細砂。 シルト分を多く混入。 有機物を混入。 3.50～3.70m間にシルトを挟在。	
4	1.04	0.90	3.90		有機質シルト	黒褐		軟らかい	有機物と炭化物を多く混入。 細砂を薄層状に挟在。 4.50～4.70m間に火山灰質砂を挟在。	
5	0.14	0.90	4.80		火山灰質砂	暗灰	緩い		砂は粗～細砂。 火山灰を多く混入。 φ2～5mmの軽石と火山礫を混入。 4.80～4.85m間に火山灰を挟在。	
6	-0.56	0.70	5.50		砂礫	暗灰	非常に密な		礫はφ5～10mmの角～亜角礫。 マトリックスは粗砂。 火山灰を混入。 φ30～50mmの亜角礫が点在。 礫の混入割合:85%	
7										
8	-3.06	2.50	8.00		火山灰質砂	暗灰	中位の～非常に密な		火山灰を多く混入。 8.00～10.80m間の砂は細～微細砂。 φ2～5mmの軽石をわずかに混入。 10.80～16.36m間の砂は粗砂。 φ5～10mmの軽石と火山礫を混入。 15.0m以深にφ30～50mmの軽石が点在。	
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16	-11.42	8.36	16.36							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	2	1	4／30	4
2.15	1／30			1／30	1
3.15	1／30			1／30	1
4.15	1	1	1	3／30	3
5.15	2	2	5	9／30	9
6.15	16	25	9／2	50／22	68
7.15	16	21	13／4	50／24	63
8.15	13	16	16	45／30	45
9.15	9	16	19	44／30	44
10.15	5	6	6	17／30	17
11.15	11	11	12	34／30	34
12.15	16	19	15／5	50／25	60
13.15	19	21	10／3	50／23	65
14.15	19	19	12／5	50／25	60
15.15	18	21	11／5	50／25	60
16.15	19	26	5／1	50／21	71
16.36					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
2.15	P1-2	Ⓟ	密含粒液塑	
3.15	P1-3	Ⓟ	密含粒液塑	7／15
4.15	P1-4	Ⓟ	密含粒液塑	
				7／16
				7／17